

22期生・2023年5月11日のゼミのフィードバック

プレゼンター	想いが埋もれてしまわないよう、一人ひとり意見を考えてもらってから、それを共有してもらおう。そして僕たちの意見を伝える時間もしっかり取るという進め方が出来たので、僕がプレゼンターとしてやりたかったことは遂行できました。ただ、相談への解答について見通しが少し甘かったことと、当初の予定より少し時間が余ってしまったことは反省点です。
プレゼンター	フィードバックありがとうございます。僕からのフィードバックは、まず反省点として、時間構成の甘さと、優しさは利己心かについてだけ着目しすぎたこと、後半で自分達の話が多すぎて、フロアの人たちが聞くことに疲れていたことです。逆に評価点としては、優しさは利己心かどうかについての明確な答えがでたことと、その答えをフロアに対して上手に納得させることができたことです。
フロア	今回は少し難しいお題のプレゼンでしたが、段階を踏んでくれたお陰でスムーズに回答することができました。フロアの意見だけではなくプレゼンターの2人の意見もちゃんと聞いて全員の意見を満遍なく聞くことができ良かったと思います。
フロア	まず最初にグループワークやディベートをしたことによって相談内容に楽しく入り込むことができたのが良かった。また発表した時に加藤くんも江川くんも両方ともが自分の意見に寄り添ってコメントをしてくれたのが自分の意見に反応をもらえて嬉しかった。優しさは利己心なのかという難しい相談内容だったが、順序を追って答えに導かれていって、良い回答が出来上がってすごくスッキリした。
フロア	個々で考えて意見を出すことによって同じグループでも色々な意見を聞いてとても良い進め方だと思いました。またディベートの形で意見を出し合うことで、よりたくさん意見が出ていたし盛り上がるな、と感じました。
フロア	良かった点：江川くんが言ったグループだと個人個人の意見が潰されかねないという意思の尊重があった点 改善点：ちょっと自分たちへのゴールへと導くのに強引かなと感じた点
フロア	江川くんが終盤にお話ししていた、グループで代表して発表するのだと、一人一人の良い意見が反映されずに終わってしまう。それはもったいないから個人で発表する時間を取った。と言っていましたが強く共感しました。私自身もそう感じていたので、個人の意見を大切にしたい授業を実際に行なって来て改めて大切さに気づきました。
フロア	プレゼン全体を通してゼミ生1人1人に自分の意見を持たせて、発表させようという意図があったところがとても良かったと感じました。プレゼンター2人ともが自分の答えをしっかりと出して発表してくれたことも良かったと思います。

フロア	グループワークじゃなく、一人一人の個人の意見を大事にした授業になるように工夫していて、とても良かったです。パワポも使いながら進行していて分かりやすかったです。個人的に少し質問が難しいものがありました。
フロア	優しさと聞けば「誰かのために」と捉えられがちだが、利己心を含み、それは決して悪では無いという結論への持っていく方がスムーズで自分の考えも上手くまとめることが出来たプレゼンでした。結論と逆の意見も考えてみたら友人と私の思いをより深く考えられたかなと思いました。
フロア	肺炎や都合などでゼミを休んでいて、初めてのゼミ活動で分からないこともありましたが、江川君と加藤くんのわかりやすい授業によってどのように授業が進むのかを理解出来ました。やはり自分では思いつかない意見等をディベート等でしっかり話し合えることは良い経験になると感じました。
フロア	今回はいろんな考え方が見えて良かった。自分はかなり「利己的になって何が悪い」「優しい人って思われなくて何が悪い」という考えが序盤からあったのだが、話を聞いていくうちにいろんな考え方があるんだなと思わされた。それはおそらく一人ずつ意見を聞いていくやり方を選択したからなのだと考える。グループで出し合って意見をまとめるだけが正しいのではなく、一人一人の意見も汲み取ることでお互いの良い発見につながることもあるのだと気付かされた。
フロア	今回の授業内容は、私自身の元々の信念とリンクした部分が非常に多く、それに加え、相手から（今回は友人から）どのように見られるか、ボランティアにはどのような意味があるのかに関する新たな視点を見つけることができた。よって非常に有意義なものであったと言える。ベンサムの功利主義についてはいずれ研究したいと思っていたので、そこについて触れることもできたことも良かった。江川くんは途中途中で反省を口にしてしている場面も見られたが、江川くんの心遣いと工夫、加藤くんの積極的な姿勢の良いところが存分に引き出されていた素晴らしいプレゼンであったと思う。本当にありがとう。お疲れ様でした。
中澤	相談者も友人も「周りの人によく思われたい＝利己心＝悪」という誤った前提にもとづいていること、ボランティアをやめるべきではないこと、この二点をプレゼンターはしっかり把握できていました。また、フロアのメンバーの動員の仕方も工夫に富み上手でした。改善点をあげるとすれば、相談者と友人との関係についての分析があれば、なお良かったように思います。関係が近いからこそ、比較してしまい、嫉妬も起こりやすいわけですから。たしかに単一の模範解答はありませんが、「人の数だけ、様々な考えが生まれる」というまとめ方では「何でもあり」のようにも受け取られてしまうので、もう少し突っ込んだ説明があればよかったですね。ただ、その説明には

<p>倫理学についての知識（カントの徳倫理学 vs ベンサムの功利主義哲学）が必要ですから、僕が授業の最後に補足しました。3 回生の春学期の時点では、今日くらいできていれば十分です。90 点はあげられるんじゃないでしょうか。江川くん、加藤くん、よくがんばってくれました。</p>
---